

## 事業実績書

事業名		沼津影絵畳プロジェクト
場所		静岡県沼津市銀町 2-14 Artspace 入サ岩崎商店
期間		令和 7 年 6 月 1 日      ～      令和 7 年 9 月 30 日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。</p> <p>イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>畳を共通項に、現代アーティスト浅野ひかり、沼津市の畳店三代目・稲村崇、元畳材料卸問屋代表・佐々木千彩美の三者による共同プロジェクトを実施。畳の“日焼け”を活かし、県外作家と地元畳業者が協働で畳作品を制作。沼津・千本浜で“焼き”の工程を行い、市民提供の「海にまつわるかたち」を畳に焼き付けた。会期中には、畳縁を選んで取り付けるワークショップや、制作の裏話・畳業界の現状を語るクロストークも開催した。</p>
事業効果		<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>本事業では、畳を共通項に現代アートと畳を融合させ、来場者 104 名 30 名にワークショップやトークの機会を提供した。「畳の香りや手触りが落ち着く」「制作体験が楽しかった」との声も多く、地域資源としての畳の価値再認識につながった。畳業界への周知は目標 5 社に対し 15 社に拡大し、多世代が関わるワークショップ（参加者 7 名）やクロストークにより地域交流が生まれ、伝統と現代表現の新しい可能性を示す成果を得られた。</p>
自己評価		<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>企画内容や製作体験は一定の成果を上げたが、来場者 104 名は目標の 150 名に届かず、地域住民 7 名の参加も課題として残った。一方、ボランティアスタッフ 4 名の協力も得られ、ワークショップやクロストークで多世代が交流する機会を提供できた。「自分で作ったことで愛着が湧いた」「また参加したい」との声もあり、体験型学習や地域文化の理解促進には成功した。今後は集客力向上と地域連携の強化が課題である。</p>
今後の活動予定		<p>※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>今後は地域住民や畳業界との協働をさらに拡大し、ワークショップや展示活動を継続して実施する予定である。今回の経験を踏まえ、県外作家との共同制作や新しい畳表現の試みも展開し、地域文化の発信力と持続可能な事業モデルの構築を目指す。来場者 150 名以上、地域住民 30 名以上の参加を目標に設定し、参加者主体の活動を通じて地域資源の価値向上と学びの深化を図りたい。</p>







